

定例会議会議録

開催日時	令和5年5月24日（水）午前10時00分～午後1時5分	
開催場所	特別会議室、公安委員会室	
区分	『全体会議』議題・要旨	主管部
【報告事項】	<p>1 株式会社ヤマップとの山岳遭難事故防止に向けた協定締結について</p> <p>地域部長から、「多くの登山愛好家に支持されているスマートフォン用GPS地図アプリ『YAMAP（ヤマップ）』を運営する株式会社ヤマップとの間で、山岳遭難事故発生時における遭難者の早期発見、救助、及び捜索隊員の二次遭難防止を目的に、山岳遭難事故防止に向けた協定を、令和5年5月30日に締結する。協定内容は、登山者アプリを通じて宮城県内の山への登山届が提出可能であること、遭難者がアプリを通じて登山届を提出していれば同登山情報内容が確認可能であること、登山する際に活動開始ボタンを押すことで遭難者の位置情報が確認可能であること、捜索隊員の位置情報をモニタリングして捜索状況が確認可能であることなどである。期待される効果は、登山届の提出率の向上や、遭難者発見までの時間短縮や捜索範囲の絞り込み、捜索隊員の二次遭難防止に加え、迅速かつ的確な捜索救助活動が容易になることである。今後、アプリの普及に向け、県民に対して県警ホームページや広報誌などにより、積極的に広報活動を推進していきたい。」旨の報告があった。</p>	地域部
	<p>2 令和5年春の交通安全県民総ぐるみ運動の実施結果について</p> <p>交通部長から、「令和5年春の交通安全県民総ぐるみ運動の実施結果について、5月11日（木）勾当台公園市民広場において出発式を開催したほか、各警察署においても出発式を開催し、この期間、自治体や関係機関団体の御協力をいただきながら様々なイベントを通じて交通安全に係る広報及び交通指導取締りを実施した。運動期間中の交通事故発生状況については、事故発生件数・負傷者数ともに昨年同期比で大幅に減少し、特に新入学児童ら小学生の登下校中の事故の発生がなかったなど、一定の成果をあげることができたと考えている。しかしながら、5月16日東北自動車道において3名が死傷する重大事故が発生し、この事故を含め昨日までの県内事故死者数は前年より6人多い19名と大幅に増加し、大変厳しい状況であることから、引き続き事故実態を踏まえた交通指導取締りや交通安全教育等を推進し、事故防止に努めていく。」旨の報告があった。</p>	交通部
	<p>3 栗原市若柳有賀地内東北自動車道下り線における交通死亡事故の発生について</p> <p>交通部長から、「令和5年5月16日（火）午後8時8分頃、栗原市若柳有賀地内の東北自動車道下り線において、高速道路沿いに停車していた大型バスに後続の大型トラックが追突し、バスから降車し路上にいたバス運転手の女性とネパール国籍の男性2名の計3名が死亡、トラック運転手が頭部などに重傷を負うという交通死亡事故が発生した。バスには日本語学校や自動車整備専門学校に通うネパール国籍等の男女40名が乗車しており、仙台市内から一関市内に所在する住宅設備会社に向かう途中であり、一方大型トラックは冷凍食品を積み、富谷市内</p>	交通部

	<p>から八戸市内の物流倉庫に向かう途中であった。現在高速隊において、過失運転致死事件として、バスが道路上に停車していた理由や大型トラックが追突した原因について関係者から事情聴取するなど捜査を進めているところである。」旨の報告があった。</p> <p>委員：道路の形状が非常時に対応できなかった可能性はあるのか。</p> <p>交通部長：現在、事故現場についてネクスコと交通部で検証しており、施設的に問題があったのであれば早急に対策を講じたい。</p>
--	--

区 分	『 個 別 審 議 等 会 議 』	
【 決 裁 事 項 】	1 宮城県警察組織規則の一部改正について	警 務 課
	2 「職員の特殊勤務手当に関する条例」の一部改正について	警 務 課
	3 苦情の受理について（2件）	総 務 課
	4 苦情の調査結果及び通知案について	総 務 課
	5 個人情報開示請求却下決定に対する審査請求に係る裁決案について	総 務 課
	6 所持許可取消に係る聴聞の実施結果等について	生活安全企画課
	7 道路交通法の規定に基づく意見の聴取等	運 転 免 許 課
【 報 告 事 項 】	1 令和4年度会計監査実施結果について	会 計 課
	2 令和4年度行政監査の結果について	会 計 課
	3 令和5年度定期監査等の実施について	会 計 課
	4 警察に対する苦情について（令和5年4月末現在）	広 報 相 談 課
	5 運転者管理システムの合理化・高度化に向けた取組（警察庁共通基盤への移行）について	運 転 免 許 課